



步兵隊 排 衛 隊 隊 長 佐藤 少佐

步兵隊

同右

步兵隊

同右

步兵隊

同右

步兵隊

同右

步兵隊

同右

步兵隊

同右

步兵隊

同右

步兵隊

同右

步兵隊

同右

步兵隊

同右

步兵隊

同右

步兵隊

同右

大 余、真部山 第二大隊 本部 = 在

第二大隊 長

佐藤 少佐

下達法

下達筆記

下達法

指揮下一般

報告定

第二歩兵隊

辨寺夫
可達志
可達

新哥
平山
大場

四余ハ...

...

...

...

...

...

...

平山 額 命令

...

平作命 第八號 (宇作命 第十三號)

平山 隊 命令

一 國頭支隊ハ富士作命第五號ニ依リ渡久地ニ於テ豫備

糧秣ノ揚陸ヲ實施セラル

二 中隊ハ一部ヲ以テ本作業ニ参加セントス

三 指揮小隊長ハ兵三銃列長ハ兵ニテ差出シ一月二十一日

同二十一日兩日ハ。造ニ晝食携行ノ上先任者ノ指

揮ヲ以テ渡久地國頭支隊連絡所ニ到リ中島主計

大尉ノ指示ヲ受ケシムベシ

隊長 平山 大尉

下達法 口達

報告先 2c

者 52 官副 長 隊

類 日 月 年 日 時 分 秒

三三三六高地據上吳 (第一中隊)
 恩 納 岳 據 上 吳 (第二中隊)
 石 川 岳 據 上 吳 (第三中隊)

- 一 地下潜在施設トシ約一々中隊ノ棲息ヲ可能ナラシム
- 二 教育ノ爲ノ警備召集ニ引續キ警備召集ヲ實施シ全カヲ以テ作業ヲ續行ス
- 三 作業開始ト同時ニ來年度ノ待命予定者ノ準備並ニ教育ヲ準備ス
- 四 中願郡方面ニ於ケル 秘密遊撃戰ノ根幹トナルベキ召集及ビ教育ヲ準備ス
- 五 遂次第三作業ノ爲ノ準備ヲ遺滅ナラシム

平作命第七號

平山隊命令

一月三十日〇七三〇
 陸 軍 部

- 一 中隊ハ火砲ノ機能ヲ点検スルト共ニ砲手ヲシテ發射時ノ感覺ヲ知得セシムル目的ヲ以テ試驗射撃ヲ實施セントス
- 二 戰砲隊ハ本二十日ヨリ整備訓練並ニ射撃準備ニ任ジ二十四日〇八〇〇迄ニ邊石地西側台地ニ於テ發射準備ヲ完了スベシ
- 三 砲車位置、首線方向、照準点其ノ他陣地進入ノ細部ニ関シテハ現地ニ於テ之ヲ指示ス
- 四 本期間邊石地ニ宿營シ給養ハ現品携行自炊ニ依ルベシ
- 五 指揮小隊ハ二十二日迄進入路ノ補修ニ任ジタル後戰砲隊ノ陣地設備ヲ援助スベシ
- 六 射撃時ニ於ケル觀測所ハ邊石地分校西方台地トシ配置並ニ設備ノ細部ニ関シテハ現地ニ於テ之ヲ指示ス
- 七 中隊行列ハ二十二日迄進入路ノ補修ニ任ジタル後新行橋兵器

210 試射

資材、船臺台へ運搬ニ任ズルト共ニ二十四日〇七三〇迄ニ小大
 銃彈各門五發ヲ砲側ニ整備スベシ
 五高田准尉ハ射撃當日警戒掛長トナリ中隊段列要員ヲ以テ射
 撃手放範第四百九ニ示ス任務ニ服スルト共ニ觀測所ニ對空監
 視哨一及對空機關銃一(實包一箱携行)ヲ配置スベシ
 六射撃當日、服裝ハ軍裝ニシテ背負袋小銃被甲ヲ除ケモノ
 トシ砲手ハ雜糞水筒ヲ除ケモノトス
 七射撃當日ニ於テ人員部署別紙、如シ
 八射撃開始ハ〇八三〇トテ定スルモ別命ス
 九試驗射撃終了後ノ行動ニ関シテハ別命ス

隊長 平山大尉

下達法 口達

報告(通報)先 2L
 I/2L
 II/2L
 100PaAS
 9NA

區	射	擊	部
所	測	警	放
人	所	戒	列
中隊長 土山曹長	古賀中尉 新井軍曹 觀測手一 通信手一	高田准尉 警戒兵五 對空監視哨 機関銃手三	河村中尉 角田軍曹 石中隊政
員	指揮任務	警戒兵ハ射撃放範 第四百九ニヨル任務 其他ハ對空自衛 任務	
任			
務			
摘	砲隊鏡一 整置 船臺台トノ連絡	〇七三〇迄ニ警戒配置完了 警戒兵ハ赤旗晝食携行 任務解除時機ハ別命	射撃前日午ノ検査トシテ人員等
要			

試驗射撃當日人員部署

兵衛	留	殘	隊
橋行新	台	窪	地
奥村兵長以下八名	患 致列兵 佐藤軍曹 小田桐軍曹 炊事兵 週 番下士官 炊事兵 小田桐軍曹 佐藤軍曹 患 致列兵	週 番下士官 炊事兵 小田桐軍曹 佐藤軍曹 患 致列兵	左分隊砲手 金井軍曹 火工兵一 自動車手四 牽引車手四 炊事兵二 彈藥整備 監視 車輜、整備、戰砲隊援助 =任ズ
前任務続行	兵舎附近、偽装 進入路、補修 陣地構築等		

佐作命 第八號

第一 本隊空襲ニ依リ戦傷者數十名ヲ名簿患患者療養
 第二 國頭支隊ハ之カ收療ヲ援助セラル
 第三 大隊ハ此嘉軍医以下衛生下士官兵各一名ヲ
 支隊本部ニ差出し右收療援助ニ任セメントス
 第四 此嘉軍医中尉ハ衛生下士官同兵各一名ヲ引率し上
 支隊本部ニ至リ午塚軍医大尉、指示ヲ受クヘシ
 第五 余ハ真部山ヲ第一大隊本部ニ在リ
 佐藤少佐

下達法 口達筆記
 下達先 指揮下一般
 報告先 第一歩兵隊